

2014年12月22日 第32号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

## 安倍「暴走」をさらに押し返そう！

全労連談話 2014年12月15日

### 第47回衆議院議員選挙の結果について（抜粋）

昨日投開票された第47回衆議院議員選挙で、自民党は追加公認を含め291議席、公明党を含む与党で326議席と、引き続き3分の2の議席を維持した。しかし、これをもって安倍政権の政策が信任を受けたとは到底いえない。(略)

与党が3分の2の議席を維持したのは、突然の総選挙で、しかも、消費税率10%の1年半先送りという争点のわかりにくさにくわえて、小選挙区制の弊害を強く指摘せねばならない。(略)

自民党との対抗軸を打ち出せなかった“第3極”といわれる勢力が後退しブームが過ぎ去ったこと、自共対決を掲げた共産党が政権批判の一定の受け皿となって議席を大きく伸ばし2.6倍化したこと、オール沖縄の候補が全員勝利し沖縄の小選挙区で自民党の議席がなくなったことなどは、部分的ではあるが、今後にいきる貴重な教訓である。(略)

安倍「暴走」政治への批判がひろがっているもとの、沖縄の選挙結果からは、一点共闘をさらに発展させ、切実な要求と地域に強く根ざせば地殻変動的な変化が起こり得ることが読み取れる。(略)

しかし、総選挙で安倍政権が3分の2の議席を確保したもとの、戦争する国づくりや原発再稼働、働く人々や庶民、地域社会を犠牲にした世界で一番グローバル大企業が活動しやすい国づくりなど、「暴走」政治が今後いっそう乱暴に加速されることが懸念される。また、自民党の総選挙公約に明記されたように9条など明文改憲の策動が強まることも確実である。暮らして日本社会の未来が脅かされる重大な事態である。全労連は切実な要求を基礎に各分野で国民的な共同をさらに徹底して強化していく決意である。(略)

また、憲法会議も12月16日に「衆議院総選挙の結果を受けて—安倍政権の暴走加速を許さない」とする声明を出しました。声明では、『信任された』とばかりに、改憲策動に踏み込む安倍政権の暴走は断じて許されない」として、「憲法会議は、『戦争する国』づくり、直面する集団的自衛権行使容認に反対し、直面する関連法制改定、日米ガイドライン改定などを許さない課題に全力をあげるとともに、安倍政権の暴走を止めようと願う広範な国民との共同を広げ、憲法を守り、くらしの隅々、世界と日本の平和に生かすために奮闘する」と決意表明をしています。(※全文は各団体のHP、もしくは憲法共同センターHPに掲載しています。)

### 安倍政権NO！ 戦争する国づくりSTOP！ —共同の輪をさらに大きく—

14日に行われた総選挙で自民党は議席を減らし(自・公を合わせた与党の議席数は横ばい)、憲法「改正」をかかげる次世代の党は17減の2議席に、そして維新も1つ議席を減らすなか、消費税増税中止、原発再稼働反対、憲法を守ろうと訴えた共産党が大きく躍進しました。

また沖縄では先に行われた知事選で辺野古新基地建設反対を訴えた翁長新知事誕生に続き、4小選挙区すべてで新知事を支える「オール沖縄」の候補が勝利、自民党は全敗を喫しました。

これらは、憲法をないがしろにして「戦争する国づくり」「企業が一番活動しやすい国づくり」を強引に進める安倍政権に突きつけた「国民の声」の結果です。若者を再び戦場に送りたくはありません。「戦争する国づくりストップ」「いのちとくらしを守れ」と国会内外で共同の輪を広げていきましょう。

### 「自公圧勝」って本当？ 実は選挙制度のおかげ —小選挙区制をやめ民意が反映される選挙制度を—

総選挙で自民、公明の与党は定数の3分の2以上の(326議席)を獲得し、「自公圧勝」と報道されました。自民党は小選挙区で、得票率48%にも関わらず、議席獲得率は76%(222議席/275議席中)。民意を

もっともよく反映する比例代表選挙での得票を見ると、自民は 2013 年の参院選と比べ 80 万票減、公明は 25 万票減。得票率も自民 1.57 ポイント、公明 0.51 ポイント減らしています。

にもかかわらず、自民が大きな議席を得たのは、比較第 1 党が議席を独占できる小選挙区制のおかげです。民意をゆがめる小選挙区制を廃止し、国民の意思を国会に正確に反映する比例代表を中心とした制度を実現しましょう。

## 信任されたとはいえない！

安倍首相は、総選挙の結果から“信任”を得たとして、アベノミクスの推進、集团的自衛権行使容認の「閣議決定」関連法案の整備、改憲や原発再稼働をすすめていく考えを示しました。また改めて「米軍辺野古新基地建設ノー」の民意が示されたにもかかわらず、ゴリ押しする姿勢をみせました。

総選挙の結果は、全有権者の中での得票割合を示す絶対得票率でみれば、自民は比例代表選挙で 16.99%、小選挙区で 24.49%しかありません。これで国民に信任されたとは到底言えません。

民意を無視して暴走政治をすすめる安倍政権には一刻も早く退場してもらいましょう。

## 選挙結果をこう見る！（「連合通信・隔日版」・141216 から抜粋）

政治学者 五十嵐仁さん

今回の総選挙の結果は、寝込みを襲うように解散した安倍政権の「作戦勝ち」といえる。（略）

今後、景気が改善せず、消費不況や物価高で生活が厳しくなれば「猶予」はたちまち解除され、政権には「実刑判決」が下されることになる。安倍首相が「信任を得た」と勘違いして、きなくさい安保・外交政策を強行すれば、大きなしっぺ返しを食うことになるだろう。

弁護士 宇都宮健児さん

52%程度という史上最低の投票率は、日本の民主主義そのものが危機に陥っていることを示している。（略）自民党に対して完勝した沖縄の運動に学ぶべきだろう。私が訪問した韓国の市民運動も政治に積極的に関わっている。日本の運動はこうした議会の多数派づくりの視点が弱いと感じる。市民運動のあり方を含め、改めて民主主義の足腰を鍛え直すことを訴えたい。

慶應義塾大学教授 金子勝さん

議会、選挙を通じて強権政治が正当化されていく、静かなファッショ（全体主義化）が進みつつあると感じる。（略）人権侵害のスロー・バイオレンスに気づき、怒らなければならない。他人事ではなく、労働組合が本当の意味で働く者の願いをすくい取らなければならない。沖縄では、住民の意思を無視して政治家が公然と約束を破ったことに怒り、力を合わせて抵抗した。これは大きな教訓だ。（※全文は HP に掲載。）

## 今後のおしらせ

### ■1月「9の日大行動」

戦後 70 周年を迎える最初の宣伝行動です。賑やかに新春宣伝をしましょう。

【日時】2015 年 1 月 9 日（金）12:00～13:00 【場所】JR 新宿駅西口

【内容】各団体のリレートーク、日本共産党議員からのあいさつ（予定）

【主催】憲法共同センター

### ■3 団体共同・国会開会日行動

【日時】国会開会日（2015 年 1 月 26 日が有力）夜（時間未定） 【場所】国会周辺

【主催】憲法共同センター／戦争をさせない 1000 人委員会／解釈で憲法 9 条を壊すな！実行委員会

### ■2.25 署名提出学習集会 & 議員要請

【日時】2015 年 2 月 25 日（水）13:30～15:00（集会） 15:00～（議員要請）

【場所】衆議院第 2 議員会館多目的会議室（予定） 【主催】憲法共同センター

【講演】「第 3 次安倍内閣をいかに追いつめるか（仮題）」／渡辺治・一橋大名誉教授



■ニュースの送付先⇒mail : [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

■各地のアクション、お知らせ⇒ホームページ「各地のとりのくみフォーム」から投稿してください